

平成24年度

事務事業評価表(平成23年度の実績評価)

記入年月日
平成 24 年 4 月 2 日

事務事業名		旧真壁郵便局耐震補強事業				区分		事務事業No.	30523518
						<input type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	18
		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	事務事業主管課	
政策体系	総合計画の施策名	305 文化財の保存・活用				<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	文化財課 35
	施策名	5	文化財の保存・活用			<input type="checkbox"/>	新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	市塚 邦彦
	基本事業名	2	文化財の活用			<input checked="" type="checkbox"/>	単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業	グループ	文化財G
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	木村智史
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/>	単年度のみ
	1	10	5	9	1	伝統的建造物群保存地区推進事業		<input type="checkbox"/>	単年度繰返し (年度～)
法令根拠	文化財保護法、建築基準法					<input checked="" type="checkbox"/>	期間限定複数年度(平成20年度～平成29年度)		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 ➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
桜川市真壁伝統的建造物群保存地区公開活用事業として、旧真壁郵便局及び西側付属建物の耐震補強工事と公開活用に向けた内部整備を実施する。

【担当者が行う業務の手順】
旧真壁郵便局及び西側付属建物修理工事を実施する。

【事業費の内訳】
工事請負費、委託料

(1) 事務事業の目的									
①手段(23年度 実際に行った主な活動)	旧真壁郵便局及び西側付属建物修理工事の発注。上記修理工事の監理業務委託。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位					
			ア 事業の進捗率	%					
			イ						
			ウ						
			エ						
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	旧真壁郵便局及び西側付属建物	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位					
			ア 事業の進捗率	%					
			イ						
			ウ						
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	歴史的建造物の保存(耐震補強を含む)・活用	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位					
			ア 耐震補強工事を行った文化財の数	件					
			イ						
			ウ						
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)	歴史的風致の維持及び向上の進捗	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位					
			ア 耐震補強工事を行った文化財の数	件					
			イ 修理された歴史的建造物	件					

(2) 指標値の推移									
区分	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	28年度(目標)	
⑤活動指標	ア %	1	2	100	100	100			
	イ								
	ウ								
	エ								
⑥対象指標	ア %	1	2	100	40	100			
	イ								
	ウ								
⑦成果指標	ア 件			0	0	1			
	イ								
	ウ								
⑧上位成果指標	ア 件			0	0	1			
	イ 件					1			

(3) 投入量(事業費)の推移										
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	期間限定	総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	150	250	7,650	10,350	22,550		
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		使用料・手数料	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	150	250	7,650	10,350	22,550	0	0
	事業費計(A)	千円	300	500	15,300	20,700	45,100	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	2	0	0
		延べ業務時間	時間	20	20	100	100	150	0	0
		人件費計(B)	千円	63	61	304	304	456	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	363	561	15,604	21,004	45,556	0	0	

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
桜川市歴史的風致維持向上計画の策定にあたって、歴史的風致形成建造物の指定及びコア事業の設定が必要であったため、現在市民団体を中心となって管理・運営されている旧真壁郵便局を、計画書に記載し、平成21年3月に同計画が国より認定された。
用地買収後は、重要伝統的建造物群保存地区の特定物件として告示されたため、平成23年度以降の事業は伝統的建造物群保存地区保存事業として進めている。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
パブリックコメントを実施したところ、法律の解釈についての提言のみであった。また、本計画の認定により(仮称)多目的複合施設についても、歴史的風致の維持向上を図る附帯施設として認定され、国の支援が受けられるため推進するよう要望されている。

事務事業名	旧真壁郵便局耐震補強事業	事務事業No.	30523518	所属課	文化財課
-------	--------------	---------	----------	-----	------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 歴史的風致の維持及び向上は、歴史資産の発掘及び保存、文化財の活用、伝統文化の保存・継承にあたるため。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 事業中に買収し、公共施設の整備するため。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 歴史的風致の維持及び向上を図るためには、他事業との連携や、歴史的風致形成建造物の追加が不可欠であるため。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 本事業は、建造物を限定して単体建造物の耐震補強事業であるため。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
有効性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 歴史的風致維持向上計画の重点事業から伝統的建造物群保存地区保存整備事業にシフトしたことにより、伝建制度は都市計画決定を行い、保存計画に規定した町並みの保存・整備事業であるため、廃止できない。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input type="checkbox"/> 都市計画区域内における都市計画決定であり、都市計画部局との連携が不可欠である。都市計画部局の管轄する景観計画に関する事業や、歴史的風致維持向上計画の実施に関する事業との連携も不可欠。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 必要最小限でやっているの、削減の余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?) 必要最小限でやっているの、削減の余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 公有化することにより、多くの市民が活用する旧真壁郵便局の安全性が向上する。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項